

## ごあいさつ



札幌市長

### 秋元 克広

朝顔の花にも名残惜しさが感じられるこの季節に、「第60回全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル・テニス）」が、平岸庭球場並びに手稲稲積公園テニスコートを舞台に盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、全国各地からお集まりの選手及び役員の皆様を心から歓迎いたします。

テニス競技は、世代や性別を超えて多くの人に親しまれるスポーツとして人気があり、札幌市においても多くの愛好者がいるスポーツです。市内各所のテニスコートに多くの利用者が集い、活動されております。

このような中、全国各地の厳しい予選を勝ち抜いてこられた若く実力のある選手の皆様に、ここ札幌の地で熱い戦いを繰り広げていただくことは、市民のスポーツ振興へとつながる、大変意義深いものであると考えております。

選手の皆様には、新型コロナウイルス感染症の影響により練習が思うようにできないこともあったと思いますが、今日まで積み重ねてきた練習の成果を遺憾なく発揮され、優勝を目指して全力で試合に臨んでいただきたいと思います。試合を離れましては、札幌市の豊かな自然を満喫し、全国から集まった仲間たちとの親睦を深め、友情を育んでいただきたいと思います。

結びに、新型コロナウイルス感染症の対策等を講じていただき、大会の開催に向けて準備を進めてこられました役員、関係者の皆様の御尽力に深く敬意を表しますとともに、大会の成功と、選手の皆様の御健闘をお祈り申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

## ごあいさつ



公益財団法人 日本テニス協会  
実業団委員会委員長

### 矢澤 猛

昨年度の本大会はコロナ禍の影響で残念ながら断腸の思いで中止とさせていただき、本年度は依然として厳しい環境下ではありますが、なんとか第60回全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル・テニス）を開催出来る事となりました。特に北海道テニス協会の実業団委員であります武田委員のご尽力によって、初めての開催地となります札幌市にて日本一を競う大会となりました。全国から厳しい予選を勝ち抜いてこられた男子32チーム、女子8チームの皆さんへの祝福と共に、コロナ禍での運営となりますので、是非大会運営上の感染対策にもご協力いただきたいと思います。

コロナ禍の影響だけではないかもしれませんが、所属会社・団体や所属チームの方針でテニスの練習をしたくても出来ず、また予選大会などのイベントにも思うように参加できない状況が続いている事等、様々な情報を耳にしますと大変辛い思いがこみ上げてきます。一日も早くこのような状況から解放され、思う存分テニスを出来る日が来ることを祈っております。

後になりましたが、テニス関係者の中にも感染された方がいらっしゃるとお聞きしております。罹患された方々、また大変なご苦勞をされたご家族の方々に謹んでお見舞い申し上げます。

札幌市にお集りいただく時は、まだオリンピックの興奮冷めやらぬ頃だと思えます。その興奮を胸に刻んで、応援してくれる会社関係や家族、友人たちにオリンピックと同じような感動を届けることが出来るように、日頃の練習成果を存分に発揮し、正々堂々と悔いのない試合で本大会での優勝、日本一を目指して頑張っていただきたいと思います。また試合以外の時間では、感染対策をしっかりと守って全国からお集まりいただいた他チームの方々と親睦、交流を深め、札幌市での滞在を思う存分楽しんでいただき、沢山の思いで話をそれぞれの会社や地元の方々に持ち帰っていただければと思います。

最後になりますが、ご後援頂いております朝日新聞社様、札幌市様、ご協賛頂いております株式会社ダンロップスポーツマーケティング様、北海道旅客鉄道株式会社様、主管頂いております北海道テニス協会、協力頂いております札幌市テニス協会、岩田地崎建設株式会社様、株式会社田中組様、日本体育施設株式会社様をはじめ、ご支援を頂いております関係各位にお礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。